放牧技術や県有牛精液利用をＰＲ

畜産技術部(畜試)
平成22年12月13日

平成22年12月９日(木)、畜産技術部では周南地区畜産振興協議会(22名)からの視察研修を受け入れました。まず、始めに当部で行った未経産牛の放牧試験について紹介し、雌牛を放牧育成する際のポイントや放牧馴致（初めて牛を放牧に出す前に電気牧柵や外の環境に慣れさせること）の注意点などについて説明しました。次に、部内の種雄牛舎へ移動し、本県の基幹種雄牛である「東平福」号や「福美美」号を紹介するとともに、県有種雄牛の精液の利用についてもＰＲしました。

畜産技術部では、これからも視察研修などを通して、広く県民の皆様に研究成果や情報を発信していくこととしています。

放牧試験に関する紹介

代表する種雄牛「東平福」